

18JDBA 競技第 6 号  
平成 18 年 5 月 1 日

常任委員 各位

JDBA 競技委員会  
委員長 長谷川 満也

下記の件に関し通達いたします。関係各位に通達・指導の程、よろしくお願ひいたします。

記

ヘッドアタックの予防に関して

昨今の全国・ブロック・都道府県大会において、ヘッドアタックの機会増加が見受けられます。幸い大事故には至っておりませんが、残念ながら事故の発生を完全防止するには至っていないのが現状です。安全に配慮した競技運営を行うことはもちろんの事、チームに対して文書ならびに口頭にて注意を促すよう引き続き、ご協力をお願いいたします。

1. 競技運営に携わる全ての者は、第一に安全に配慮した競技運営に努めること
  2. チームに対する安全指導（危険行為の排除）を徹底すること
    - a. 「キャッチ力」向上のための技術指導
    - b. アタックを「よける技術・意識」の向上
    - c. ヘッドアタックを増長・容認させるような防御・指導の排除
- ※ 「ヘッドアタック＝マイボール」的な発想に基づく、短絡的な安全配慮に欠ける行為・指導の排除

ヘッドアタックの衝撃は周知の通りです。選手達の未来のため、重大事故の防止のために競技関係者・チーム指導者とその重大性を認識し、ドッジボール競技を普及されるように強く要望いたします。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

以上